

会計業務向け

パッケージソフト選び

—よく使われている製品—

パソコンショップや家電量販店のソフトウェアコーナーに行くと、その一角に「業務ソフトウェアコーナー」がある。ここで販売されている会計ソフトのうち、中小・中堅企業に適したものをいくつか紹介する。

客管理など、関連業務のシリーズをそろえている。同じシリーズを使うと、操作性の統一感やデータ連携などのメリットがあるから、他の業務への導入も考えているならば、シリーズ全体の情報も仕入れておいた方がよい。

ネットワーク対応だ。これは、作業を1台のパソコンで行うのか、数台のパソコンで入力したりデータを見たりするのかによって必要度が大きく変わる。

離れた工場などでも伝票入力を行いたいのであればネットワーク対応が不可欠だが、多くのパソコンで処理ができるということは情報漏れの心配にもつながるので、この点を含めて検討したい。

中小・中堅企業で使われている 主な会計ソフトウェア

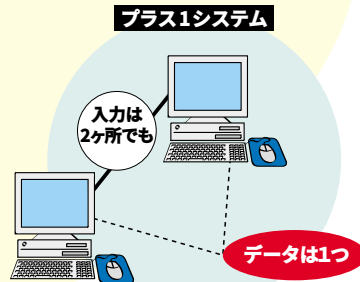
検討しやすい価格設定
初心者優しい
弥生会計シリーズインテュイット



初めてでも安心。軽薄感覚の「クイックナビゲータ」

個人事業主にも対応
会計王シリーズソリマチ

- 2000件の事例をもとに仕訳をアドバイス
「会計王2003」(12月6日発売予定)
価格:45,000円
- プラス1システムで3台までのネットワークを容易に構築
「会計王Professional」
価格:75,000円



データは1つ

価格の安さで目を引くのはインテュイットの「弥生会計」シリーズ。帳簿を棚から取り出すのと同じ感覚で使えるメニュー画面「クイックナビゲータ」を搭載するなど、初心者への配慮がきめ細かい。

特に1~30人程度の小規模事業所に人気の「弥生会計02スタンダード」は、購入者の35%がこれまで手作業で経理処理を行っていた事業所だという。インテュイットでは「初心者の方の導入実績が豊富なので、サポートセンターではどんなに初歩的な質問でも対応できます」と、入門ソフトとしての利便性を強調している。

ソリマチから発売中の「会計王」



- コストパフォーマンスはダントツ
「弥生会計02 Standard」
価格:40,000円
- 深い経営分析もカバー
「弥生会計02 Professional」
価格:80,000円

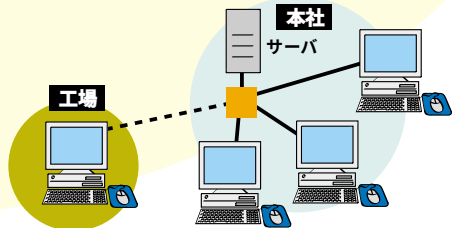
仕訳帳の入力は一番下の行から。
同じ場所だから迷わない



パッケージだけでも
いろいろあるな。
パソコンショップで
買えるのか

様々なネットワークに対応する
PCA会計シリーズピーシーエー

- 1台でしっかり使う
「PCA会計2000PlusV.2」
価格:150,000円~
- ネットワークで使う
「PCA会計2000PlusV.2 forSQL」
価格:3クライアント580,000円~



基幹業務の革新へ
ブロードバンド対応も万全

勘定奉行シリーズオービックビジネスコンサルタント(OBC)



- 一般財務会計用
「勘定奉行21」
価格:150,000円~
- プロジェクト別原価管理対応
「勘定奉行21 [個別原価管理編]」
価格:380,000円~
- 建設業向け
「建設奉行21」
価格:580,000円~
- SOHO向け
「勘定奉行2000太鼓判」
価格:40,000円

*それぞれLAN対応の「LANPACK」があり、ライセンス数ごとに価格が設定されている

シリーズも同規模のユーザーが中心。会計王の「プロフェッショナル版」では、「プラス1システム」の名称で、同製品を追加購入すると、特別なサーバー設備なしに、3台までのパソコンによる伝票入力や帳簿データを一元管理できるサービスを提供している。

LAN(社内ネットワーク)対応が充実しているのはオービックビジネスコンサルタント(OBC)の「勘定奉行」シリーズとピーシーエーの「PCA会計」シリーズだ。ネットワークで利用するユーザー数(ライセンス数)によって、価格が異なるのが特徴である。また、提供する機能によって製品を段階分けしており、各々の段階ごとに価格設定している。ソフトをLANで利用する場合、は自社のネットワーク設備の吟味が不可欠だから、販売会社のコンサルティングを受けたり、専門家に相談した方が、失敗が少ないだろう(ネットワーク利用については14頁以降で詳しく紹介する)。

どの製品も、常に利用者の声を聞きながら、内容を充実させてきた。完成度はなかなかのレベルだ。